

平成 29 年度特定非営利活動に係る事業計画書

特定非営利活動法人 ちば経営応援隊

I. 事業実施の方針

当法人は、豊かで暮らしやすい地域社会の創出と質の高い市民生活の実現に一層貢献するべく、平成 29 年度においても事業活動を活発に行う。具体的には、自治体案件への積極的応札などに取り組み、事業機会の拡大を目指すとともに、情報セキュリティマネジメント研究会などの会員によるワーキンググループ活動を積極的に進める。

II. 個別事業の実施計画

(1) 経営支援事業・相談事業

主力事業である、会員の個別企業に対する IT 経営支援事業の強化のために、各種認定支援機関との連携働きかけを強化する。さらに支援希望企業との接点機会を増やすべく、具体的には、コラボ産学官千葉支部（「IT 経営実践」）、県内各地商工会議所・商工会・団体中央会等と連携して、中小企業経営者向けのセミナー（「マイナンバー」「情報セキュリティ」「IT 経営実践」）を積極的に企画・開催し、セミナー受講企業からの個別相談の件数拡大を目指す。

企業支援に際しては、国の「専門家派遣事業（ミラサポ）」、千葉県の「専門家派遣事業」（一部企業負担）などの専門家派遣を活用するだけでなく、企業側の理解を得て全額企業負担の形に誘導する成功事例の共有など、継続的に当該企業を支援する方策を研究する。

また、会員による公的支援を活用した支援企業等に対して、「ちば経営応援隊 IT 相談サービス」への入会を促進し、そのサービス運営を本格化させる。

(2) 研修事業

主力事業の研修事業については、IT コーディネータ資格取得のケース研修第 2 期を、船橋情報ビジネス専門学校や他の ITCA 登録組織と共催での開催実現に向け、総力で集客その他の取り組みを行う。

創業支援に関しては、船橋市の「平成 29 年度創業実践塾」の受託を目指し、船橋商工会議所等が実施する認定創業スクールとの連携を図る。

また、例年同様、IPA より千葉県における「中小企業情報セキュリティ講習能力養成セミナー」を受託実施する。

(3) 自治体・教育委員会等への活動

浦安市などの自治体の競争入札案件に積極的に応札し、受託を目指す。船橋市に関しては「創業実践塾」等の受託を目指す。

また、要請があれば、本年度も自治体職員向け研修を受託実施する。

千葉県地域 IT 化推進協議会「IT リテラシ向上対策部会」を主宰し、県内各地での「改正個人情報保護法対策セミナー」実施、山武市教育委員会情報化推進会議への参加に加え、自治体職員・教職員等の IT リテラシ向上に役立つメルマガを発行する。

習志野市のワイがや通り活性化活動に関しても引き続き支援する。

(4) 会員・ITC 向けスキル向上活動

会員相互の情報共有と知識・技量の向上のため、平成 29 年度も原則月 1 回の割合で、全体会議（連絡会）・研修会を定期的に行う。また、適宜先進事例等の見学会を企画実施する。

また ITC 向けに ITCA 後援のセミナーとして、年 2 回（9 月、3 月）の「ITC の実践力向上セミナー」と総会記念講演会（6 月）の企画実施を予定する。

会員のスキル向上と支援ツールの整備、事業範囲の拡大などを目的に、情報セキュリティマネジメント研究会などのワーキンググループ活動を積極的に進める。

(5) 広報活動

当法人の広報活動の一環として、活動の記録第 6 号（平成 28 年度活動実績と支援事例紹介など）を発刊するとともに、当法人ホームページにおいても会員個々の支援実績等を紹介するなど、積極的に情報発信を行う。

また、当法人の知名度拡大に向けメディア取材などに積極的に応対する。

(6) 法人運営

理事会は、理事・監事に加え、各部門の副担当を交えた拡大理事会の形で、原則月 1 回の割合で定期的に行う。必要に応じて Skype 等を利用した電話会議の形式で臨時理事会を開催する。

(7) 他の ITCA 登録組織との連携

IT 活用や事業方向に同じ志を持つ、他地域で活動する組織との連携を検討し、当会の事業に協力いただける組織との連携を確立し、当会の活動の一助とする目的で連携を進める。

(8) 新規事業への取り組み

変化の激しい時代の中で、新たな課題や活動の場が生じた場合は速やかに対応すべく理事会等で検討する。